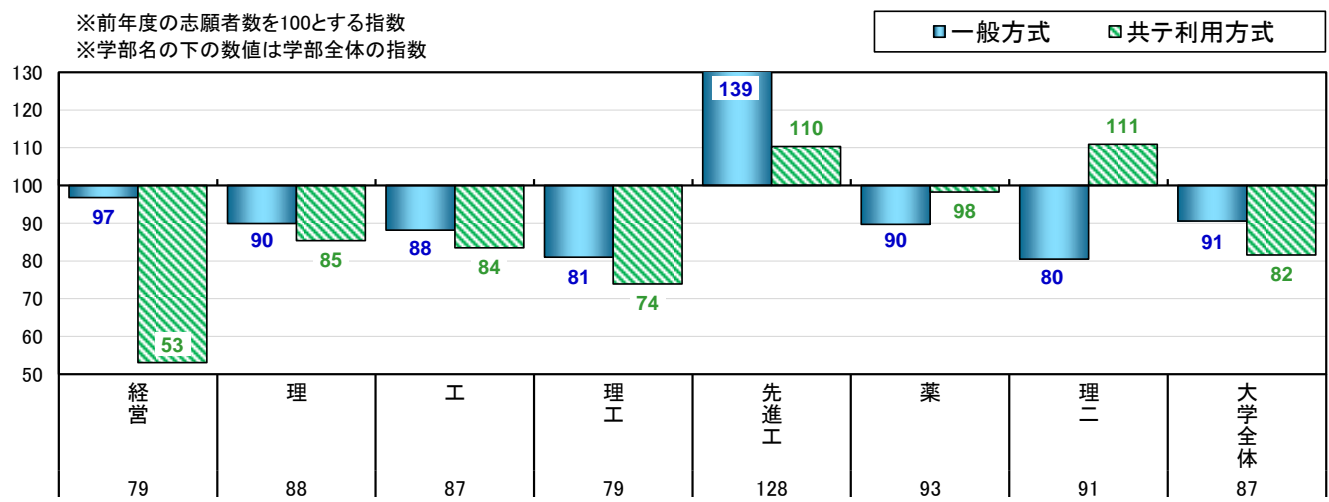


2021 年度入試状況分析【私立大】

東京理科大：大学全体では2年連続減少。4方式全てが減少 一般：-3,476人 共テ：-3,578人



入試変更点 学部改組：基礎工→先進工
 学科新設：経営(国際デザイン経営)
 募集人員：経営(経営)〈A方式〉…56人→37人、〈B方式〉…132人→72人、〈C方式〉…24人→12人、
 (ビジネスエコノミクス)〈A方式〉…30人→37人、〈B方式〉…62人→73人、
 〈C方式〉…13人→15人、〈グローバル〉…7人→8人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では7,054人(87)の減少で2年連続減少。一般方式は3,476人(91)の減少で2年連続減少。方式別では〈B方式〉は3,472人(90)の減少で4年連続減少、〈グローバル〉は全学部導入された2018年度以降2年連続増加だったが、4人(100)の微減だが減少に転じた。共通テスト利用方式は3,578人(82)の2年連続大幅減少。方式別では〈A方式〉は3,231人(80)の大幅減少、〈C方式〉は347人(90)の減少でいずれも2年連続減少。

〈一般方式〉

- 経営(97)は、やや減少で2年連続減少だが、新設の(国際デザイン経営)を除くと(78)の大幅減少。学科別では、(経営)(61)は2年連続大幅減少、一方で(ビジネスエコノミクス)(106)はやや増加で2年連続増加と対照的。新設の(国際デザイン経営)は志願者数585人で、志願倍率は12.4倍で学部全体の志願倍率14.1倍を下回った。
- 理(90)は、3年ぶりに減少。全ての学科で減少し、(応用化学)(85)は大幅減少。
- 工(88)は、3年連続減少。学科別では、(情報工)(112)は増加だが、他の4学科は減少し、特に(電気工)(68)、機械工(80)の大幅減少が目立った。
- 理工(81)は、大幅減少で2年連続減少。全ての学科で減少し、半数以上の学科が大幅減少。
- 基礎工から改組した先進工(139)は、改称効果もあって大幅増加で、基礎工から2年連続増加。学科別では、3学科とも旧学科と募集人員には変化はないので、そのまま比較する。(生命システム工)(166)は(生物工)との比較では大幅増加で2年連続増加。(電子システム工)(151)も(電子応用工)との比較で大幅増加、(マテリアル創成工)(111)は(材料工)との比較では2年連続増加。
- 薬(90)は、3年連続減少。学科別では、(生命創薬科学)(89)は2年ぶりの減少、(薬)(90)は3年連続。

〈共通テスト利用方式〉

- 経営(53)は、前年度大幅減少の反動はなく、2年連続半減近い減少。学科別では、(経営)(38)は2年連続半減以下の激減、(ビジネスエコノミクス)(56)は大幅減少で3年連続減少。新設の(国際デザイン経営)は志願者数185人で志願倍率は7.4倍で学部全体の志願倍率8.8倍を下回った。
- 理(85)は、2年連続大幅減少。学科別では、(化学)(125)は大幅増加だが、その他の学科はいずれも減少し、特に(応用数学)(67)、(応用化学)(68)の30%以上の大幅減少が目立った。
- 工(84)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、(情報工)(115)は大幅増加だが、その他の学科はいずれも減少し、特に(電気工)(48)は半減以下の減少。
- 理工(74)は、大幅減少で2年連続減少。学科別では、(土木工)(100)は微減に留まったが、全ての学科で減少し、特に(先端化学)(49)、(経営工)(50)、数学(55)の40%以上の大幅減少が目立った。
- 基礎工から改組した先進工(110)は、前年度基礎工の大幅増加の反動はなく2年連続増加。学科別では、3学科とも旧学科と募集人員には変化はないので、そのまま比較する。(生命システム工)(134)は(生物工)との比較では大幅増加で2年連続増加。(マテリアル創成工)(69)の大幅減少、(電子システム工)(174)の大幅増加はいずれも前年度の(材料工)、(電子応用工)の大幅増減の反動。
- 薬(98)は、微減だが2年連続減少。学科別では、(生命創薬科学)(116)は大幅増加で前年度の反動による増減が継続、一方で(薬)(89)は2年連続減少。